

1. 河川水辺の国勢調査（魚類調査）を実施しました

「河川水辺の国勢調査」とは、川の環境を適切に整備し保全していくために、全国の一級河川、ダム・湖沼等で、魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類といった生物調査や散策などの河川の利用状況調査を行っているものです。

平成21年度は、利根川水系全体で魚類調査を実施しています。渡良瀬川では、春（5月下旬～6月上旬）と秋（10月中旬～下旬）の2回実施しました。桐生出張所管内の調査地点は、太田頭首工（渡良瀬川）、桐生大橋（渡良瀬川）、両国橋（桐生川）、中里橋（桐生川）の4地点です。



調査箇所位置図



調査状況

調査では、春季調査・秋季調査を合わせて、以下のような魚が確認されました。水質が良いところでないと生活できないスナヤツメ（絶滅危惧Ⅱ種指定）や、清流に住むというカジカ等が確認されています。こうした魚が生活できる渡良瀬川、桐生川を維持できるよう、引き続きご協力をお願い致します。

	スナヤツメ	コイ	コイ（ニシキゴイ）	オイカワ	カワムツ	アブラハヤ	ウグイ	モツゴ	ムギツク	タモロコ	カマツカ	ニゴイ	スゴモロコ	ドジョウ	シマドジョウ	ホトケドジョウ	ギバチ	ナマズ	ワカサギ	アユ	ヤマメ	メダカ	カジカ	ヌマチチブ	確認種
太田頭首工				○		○	○		○	○		○		○	○	○	○				○	○	○		13種
桐生大橋	○	○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		20種
両国橋				○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○		○				○		13種
中里橋	○	○	(○)	○	○	○	○		○					○	○	○	○						○	○	14種

() は目視



※この調査結果は速報のため、正式な同定により種名等が変更となる場合があります。

2. 桐生出張所管内**工事状況**

桐生出張所管内における現在**施工中**の工事について紹介します。

H20境野町築堤護岸及び橋梁撤去工事

H21細田築堤護岸外工事

11月に入ってから旧両国橋の橋脚及び左岸側にあった橋台を撤去し、細田樋管を改築するために旧施設の撤去を行っているところです。中央を左右に横切っているのは、土砂が約1m³入る大型の**土のう**で、河川の水位上昇から工事区域を守るための仮締切です。

また左下に移っているコンクリートは、まだ撤去されていない右岸側の橋台です。このあと細田樋管と周辺の護岸、そして最後に堤防をつくっていきます。

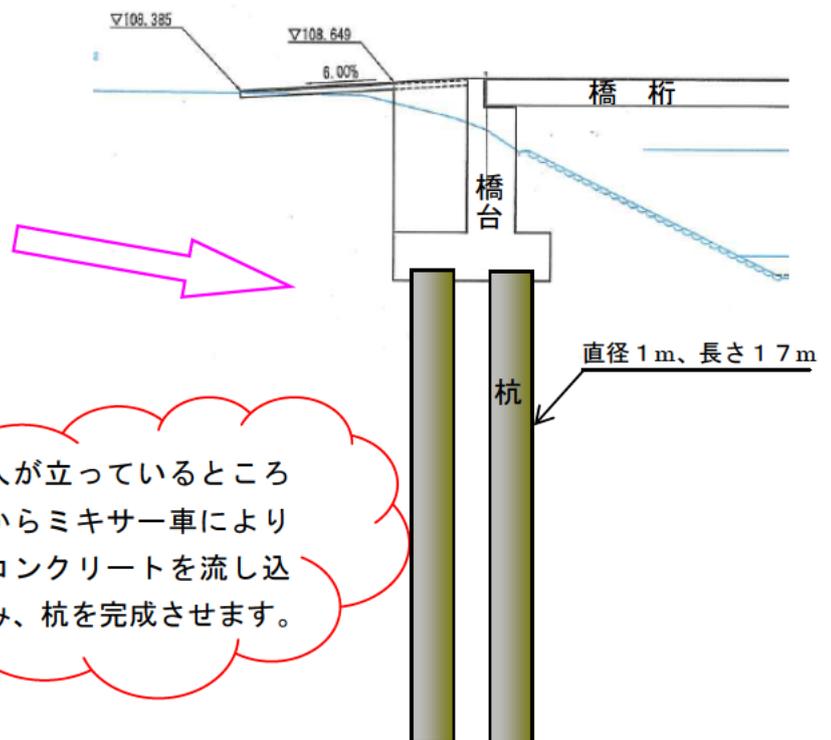


新両国橋からの全景



H21桐生川坂路設置外工事

桐生川における水辺の築校整備のための工事は、幸橋から広見橋の間で行われており、現在は黒川を渡る橋梁工事と堤防から河川敷に下りる坂路を作り始めています。写真は黒川と桐生川の合流部に歩行者と自転車用の橋梁を作っているところです。大きなクレーンは橋台を支える杭を作るためのもので、杭は橋台の下に直径1m、長さ17mの穴を掘り、その中に鉄筋を入れコンクリートを流し込んで作ります。1日に1本の割合で、1つの橋台で4本、左右岸で8本作ります。

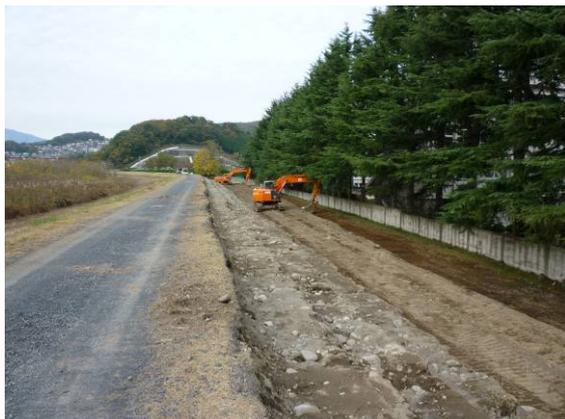


人が立っているところからミキサー車によりコンクリートを流し込み、杭を完成させます。



H21 桐生地区側帯盛土外工事

この工事は、渡良瀬川左岸のJR渡良瀬川橋梁から桐生大橋までの堤防裏に、緊急時の水防活動用の土砂を確保するための盛土工事です。現在は堤防裏の斜面に対し段切りという作業を終え、ダンプトラックによりみどり市から備蓄土となる土砂を運搬・搬入しております。段切りとは、堤防の斜面に新しく土を直接盛ると、その境で滑りが発生してしまうため、古い土と新しい土が馴染むように行う施工方法です。下の写真の左が段切りの施工中で、右は完成したところです。



工事場所においては立入禁止等の看板を立てております。しばらくの間ご不便をお掛けしますが、事故に遭わないようご理解ご協力をお願い致します。

3. 水質事故対策の勉強会を開催（11月6日）

栃木県足利市緑町地先の渡良瀬川河川敷において、渡良瀬川沿川の県の土木事務所や市の職員に参加していただき、河川に油や有害物質が流出したときの、調査方法や対策について勉強会を開催しました。

当日は約60名が参加し、油の特性や対策に利用する資材の説明、また水質状況を簡易な方法で調べるパックテスト（試験方法）の講義を受け、その後オイルフェンスの張り方を体験しました。

渡良瀬川やその支川において、油の流出や死魚の浮上といった事故が頻繁に起きています。不要になった油や薬品を河川に投棄しない、させないようにしましょう。またそのような状況を発見した場合には、速やかに最寄りの当事務所出張所や市に連絡をお願い致します。



4. 松原橋公園 水辺の楽校の復元 (11月22日)

松原橋公園 水辺の楽校は平成12年に完成しました。しかし、完成して間もなく平成14年の台風による洪水で水辺の楽校周辺の川の流れが変わり、現在は水辺に接続していません。またハリエンジュなどの樹木が繁茂し、利用者が近づきにくい状態になっているだけでなく、洪水時の流れの妨げになる恐れがあり問題となっています。そこで川づくりネットワークきりゅう等の協力を得て、水辺の楽校本来の機能回復と、洪水時の安全性向上のために、除草作業や伐採する樹木等の選定作業を行いました。本格的な伐採や水路の掘削は、この後、渡良瀬川河川事務所ですべて予定していますが、伐採木の配布等については当事務所のホームページで紹介する予定です。



桐生川水辺の楽校で現在工事中の、黒川を渡る橋梁の名称を公募しています。公募についての詳細は、渡良瀬川河川事務所ホームページに掲載しています。ご覧下さい。

【川づくりネットワークきりゅう】 住民参加による川づくりを目指し、市民、団体、企業、学校、行政相互の「情報交換」と「情報の発信」を進めるとともに、「活動の連携」を目的に活動している市民団体で懇談会を偶数月の第1水曜日、19時から桐生市民活動推進センター「ゆい」で開催しております。参加自由です。



編集・発行：国土交通省 関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所 桐生出張所
〒376-0004
群馬県桐生市小梅町1番7号
電話 0277-44-3724
FAX 0277-43-1493

ホームページ
渡良瀬川河川事務所
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>
桐生川
<http://www.kt.mlit.go.jp/watarase/kiryu.htm>



★ 編集後記 ★
紅葉も終わりを迎え、段々寒くなってきました。松原橋公園での復元作業に参加の皆さん、寒い中本当にご苦労さまでした。
工事も段々本格的に稼働してきます。皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程お願いします。
本紙面の内容も更に充実したいと思います。引き続きご意見等をお寄せ下さい。よろしくお願い致します。